



マイコプラズマについて

今年マイコプラズマが流行しています。ご注意ください。

- 発症者の8割は学童期や若年者で、2割は未就園児です。1年を通して発生しますが、秋から冬にかけて増加する傾向にあります。
- 潜伏期間は2~3週間です。飛沫感染、接触感染で広がります。症状が出る前から菌を排出し、症状発現時にピークとなり、4~6週間は菌の排出が続きますが、明確な出席停止期間は定められていません。解熱後2日経過し、咳があっても日常生活が支障なければ登園可能と思われれます。良くなるのに大体1週間くらいはかかります。
- 症状は発熱や倦怠感、咳です。咳は熱が下がっても3~4週間続くことがあります。小児の多くは軽症ですが、まれに重症化する場合があります。
- 当院ではマイコプラズマの検査は時間がかかりますが結果が正確なランプ法を用いています。のどに綿棒をこすって調べます。
- 治療には抗生剤を使用します。一部に抗菌剤が効きにくい場合がありますので、その際は二次病院を紹介します。
- 予防は手洗い、咳エチケットとコロナ予防と同じです。一度かかっても再度感染する場合があります。